



2022年牧杯ジュニアフェンシング選手権大会

第43回フルーレ大会・第4回サーブル大会

兼2023年世界ジュニア・カデフェンシング選手権大会選考会

要 項

主 催 (公社) 日本フェンシング協会

後 援 京都府・大山崎町・京都府教育委員会・(公財) 京都府スポーツ協会
(公財) 京都市スポーツ協会・(公財) 全国高等学校体育連盟フェンシング部

主 管 京都フェンシング協会

1. 期 日

- ・ 2022年9月24日(土) 女子サーブル：8時30分開場 9時コール 9時30分試合開始
男子フルーレ：12時コール 13時試合開始
- ・ 2022年9月25日(日) 男子サーブル：8時30分開場 9時コール 9時30分試合開始
女子フルーレ：12時コール 13時試合開始

※ 参加申込状況により、各種目試合開始時間を変更する場合があります。その場合、速やかに日本フェンシング協会HP等で周知します。

2. 会 場

大山崎町体育館 京都府乙訓郡大山崎町円明寺一丁田50 Tel075 (956) 0567

3. 競技種目

男女フルーレ個人戦 男女サーブル個人戦

4. 競技方法 (予定) 予選はプール方式5本先取

エルミナシオン・ディレクト方式 (3位決定戦は行わない)

※参加人数により競技方法は当日決定いたします。

5. 参加資格

- (1) 2022年度(公社)日本フェンシング協会登録済みの者。
- (2) 2003年1月1日～2009年12月31日生まれの男女
- (3) フルーレ参加資格

- ・FJEジュニアランキング上位64名以内の選手（2022年7月末時点）
- ・FJEカデランキング上位32名以内の選手（2022年7月末時点）
- ・各都道府県フェンシング協会が参加を認めた上記（1）（2）を満たす選手（2名以内）
- ・京都フェンシング協会が参加を認めた上記（1）（2）を満たす選手（京都フェンシング協会登録の選手若干名）

※サーブはFJEランキングによる制限はなし。

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、上記参加資格にかかわらず参加人数を制限する場合があります。ご了承ください。

6. 参加費 1人1種目 7,000円（新型コロナウイルス対策費・傷害保険料を含む）

7. 参加申込 **2022年 9月 4日(日)厳守**

9月 4日（日）までに参加料を下記口座に振り込むとともに、所定の申込書ファイルに必要事項記入の上、電子メールにて下記アドレス宛申込みこと（**9月4日必着**）

※申込書の電子ファイルは、日本フェンシング協会HPより入手可能

※必ず所定のエクセルファイルで提出のこと。

※申込を受け付け次第返信メールを返します。各自確認してください。

spam メール等でメールが未着の場合もあり得ますので、事務局からの受信確認の返信メールを必ず確認してください。

※返信メールが届かない場合は受付が完了していないと判断してください。

※万が一大会中止による返金の事態を鑑み、参加費の振り込みは極力所属単位でまとめて処理していただきたくよろしくお願い申し上げます。

① 参加料振込み先

・銀行振込口座 三菱UFJ銀行 出町支店 普通0450645

名義 京都フェンシング協会

※振替・振込手数料は参加者負担とする

② 参加申込書送信先及び連絡先

アドレス: kyotofence-assoc@kmd.biglobe.ne.jp

〒600-8035 京都市下京区京極町497-3 (有)KFE内

京都フェンシング協会牧杯選手権大会事務局

TEL075-341-7725

※今後、新型コロナウイルス拡散により感染者が急増の場合、公共施設側からの会場使用禁止や主催者側の判断により中止の決定が有る事をご承知おきください。

また、大会中であっても途中で中止をせざるを得ない場合もあることをご承知おきください。

大会中止による返金につきましては、準備にかかる諸経費を考慮し5,000円を返金させていただきます。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

8. 表彰

優勝者には優勝杯・レプリカ・メダル・賞状、2・3位にはメダル・賞状を贈る。

9. 試合規則

無観客試合とする。選手、コーチ以外は体育館内に入れない。

本要項記載以外はF・I・E(国際フェンシング連盟)および(公社)日本フェンシング協会試合規則の最新版を準用する

- ・プール戦、エリミナション・ディレクトでベンチにて試合を撮影する場合は三脚スタンド等で固定してお願い致します。通信機器の使用禁止は選手のみならず、コーチにも及ぶものとなります。「違反と罰則の第4グループ 4.1」に該当するものとなります。

10. 武器用具装備

- (1) FIE 競技規則第1編第4章 選手の用具(武器-用具-衣服) 選手の責務 t20-1
選手は、自己の責任のもとに、又、危険を覚悟で武器、用具、衣服を着けてフェンシングを行う。の競技規則および、選手は自分が加害者または被害者となるあらゆる事故に対して、責任を持たなければならない事を十分に理解して 試合に挑むこと。
※ ルール・審判委員会 2018年9月6日付け「胸部保護具他に関する規則適用について」2019年9月11日「電気サーブル用グローブに関する規定について」に準ずる。
- (2) 事前の武器・用具等の検査は行わない。各マッチ前の用具検査 審判員(主審)は、FIE 競技規則(2018年12月更新版)用具規定 t47 に 則り、選手の武器、服装、及び用具を検査する。

11. 宿泊 各自確保してください。

12. 注意

既に日本フェンシング協会から2010年6月8日付け(FJE発22-085号)「事故防止・安全管理について」の通達が出ており、2010年12月17日からの全日本選手権より適用にはなっておりますが、事故防止のため内容熟読の上ご参加ください。

13. 安全管理

参加者は競技会の全般における安全管理については、特に留意して臨むこと。

- ① 各選手には主催者が競技会における傷害保険をかける。
- ② 各選手は事前にスポーツ傷害保険等、他の保険に加入することが望ましい。

14. 感染予防対策の徹底について

本大会は、下記のガイドラインを踏まえて開催いたします。参加者の皆様におかれましても熟読の上、参加してください。

○公益財団法人日本スポーツ協会 感染拡大防止ガイドライン

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html>

○公益財団法人日本フェンシング協会

[https://fencing-jpn.jp/cms/wp-](https://fencing-jpn.jp/cms/wp-content/uploads/2020/05/f05a3b362653d9deaa5142ada8ac6c7b.pdf)

[content/uploads/2020/05/f05a3b362653d9deaa5142ada8ac6c7b.pdf](https://fencing-jpn.jp/cms/wp-content/uploads/2020/05/f05a3b362653d9deaa5142ada8ac6c7b.pdf)

<事前の営み>

- ・試合に参加される選手・コーチは大会開催前後2週間の検温と体調を書面に残すこと（別紙）体調記録用紙
- ・当日受付にて体調記録用紙の提出いただきます。
- ・上記感染拡大防止に関するガイドライン（参加者が遵守すべき事項等）を熟読すること

<当日の営み>

- ・発熱の有無にかかわらず、当日体調がすぐれない選手は参加を見送ること。
- ・体育館入口において、検温・アルコール消毒を実施します。
- ・スタッフ、コーチは原則マスク着用とし、選手においても試合中以外の時間帯において人との距離を2メートル以上確保できない場合はマスクを着用すること。
- ・無観客試合とし、1クラブにつき1名のコーチの帯同を認める。
- ・試合に参加する選手はフェイスシールドの着用を義務付けます。
- ・感染防止の観点から、試合用具や飲み物、タオルの共有は禁止します。
- ・こまめな手洗い、手指の消毒をすること。
- ・大声による会話、応援はしないこと。
- ・栄養補給や熱中症予防対策のために飲食を行う場合は会話を控え、飲食終了後は速やかにマスクを付けてください。